

Concertino *di* Kyoto

第18回 演奏会

と き '76. 11. 20(土) PM 7:00
と ころ 大谷ホール
主 催 才能教育研究会京都支部

プログラム

○合奏協奏曲 Op.7 No.12……………ピエトロ・ロカテルリ

アレグロ

ラルゴ

アレグロ

独奏 Vn

I 東田 渉、II 田中信介、III 水野敬子、IV 江村孝哉

○弦楽のためのソナタ 第6番……………ジョアッキーノ・ロッシーニ

アレグロ スピリトーズ

アンダンテ アッサイ

テンペスタ(アレグロ)

○フルート協奏曲 ホ短調……………サベリオ・メルカダンテ

アレグロ マエストーズ

ラルゴ

ロシア風ロンド

独奏 高橋利夫

○バイオリン協奏曲 ニ短調……………ジュゼッペ・タルティーニ

アレグロ

グラヴェ

プレスト ノン トロッポ

独奏 田中信介

○弦楽のためのアダージョ……………サミュエル・バーバー

演奏曲目について

今夕は18世紀と19世紀はじめのイタリア音楽を2曲ずつ、それに20世紀のアメリカ音楽を1曲演奏することにしました。みなそれぞれ異なった個性をもつ作品です。

ロカテルリとタルティーニは、ともにバロック時代の最後をかざる作曲家。バイオリン奏者です。ロカテルリのこの協奏曲は4つのバイオリンとチェロを独奏部として、や、古風なスタイルで書かれています。彼の作品の中で、演奏される機会が最も多いものです。

タルティーニはロカテルリよりも一才年上ですが、作風はずっと新らしく、次の古典派の時代に向かって大きく一步をふみ出した感じを与えます。この曲でもすでにバロックの色彩は薄れ、むしろロマン的な感情の方がきわ立っています。第1・3楽章は、合奏で出る主題を独奏がさまざまに変奏・展開します。第2楽章は独奏バイオリンの歌で、オルガンも伴奏に加わります。

ロッシーニとメルカダンテが生まれたのはこの二人からちょうど百年後の18世紀末です。ロッシーニの6曲のソナタはバイオリン、チェロとコントラバスのために書かれており、ピオラを使っていないのは珍しいことです。1804年、彼が12才のときの作品ですから、内容的な深さを期待することはできませんが、豊かな旋律や、技巧的な難かしい楽句を使いこなしているのに感心させられます。第6番では、終楽章が「嵐」と題され、暴風雨のはじまりから終るまでの経過をこくめいに描写しているのが特徴です。

メルカダンテは生前、オペラ作曲家として高い名声を得ていましたが、いつか全く忘れられていました。この協奏曲も昨年レコードが出はじめて話題に上るようになったもので、それまでは知る人もほとんどなかったと思われます。1819年の作曲で、古典的な協奏曲の形をとっており、終曲のロンドは舞曲風の性格を持っています。全曲にわたってフルートが輝やかな活躍をします。

バーバーのアダージョは、1936年に作られた弦楽四重奏曲の緩徐楽章を合奏用に編曲したもので、トスカニーニによって初演されました。伝統的な手法によった、むしろロマンチックな曲で、柔らかな和声にみたまされ、たびたび演奏されるものの一つです。

メンバー

Cond. 井手章夫 FI. 高橋利夫(solo)

Vno 田中信介 東田 渉 水野敬子
江村孝哉 田原明子 長尾まや子
高木 泉 円城めぐ美 小泉佐知子
結城三紀子

Vla 仲佐悦子 松村裕美子 新井 覚

V. C 壁瀬雅比古 中井敏雄

C. B 森田 昭

Cembalo 壁瀬温子



ヤマハピアノ・オルガン エレクトーン

ガーシュインピアノ (純ドイツ製
部品使用)
輸入バイオリン

各種教育用楽器販売

マツヲ楽器KK

京都市上京区今出川河原町西入ル
TEL. (231) 5 5 4 4 ・ 5 6 6 5